

平成最後のお正月は降雪もなく暖かい三が日でした。2 月になるとさすがに朝晩の冷え込みが厳しい今日この頃ですが、これも節分、立春と続き、春はすぐそこまで来ています。

最近の話題の一つに「働き方改革」という言葉をよく耳にしたり使ったりします。人生 100 年時代、今の 70 歳は昔の還暦と同じ感覚だというお話を聞きました。高齢者雇用安定法は 65 歳までの再雇用の努力義務付けを謳っていますが、これを 70 歳までに延長する議論が始まっています。公務員の定年制度も現在は 60 歳ですが、これを 2021 年度から 3 年間で 1 年ずつ延長し、2033 年度には 65 歳まで延長するという議論も始まっています。そうなった場合、この間を 60 歳での役職定年制と再任用制度で繋いでいくことになります。東白川村役場でも、定年を迎えた職員の皆さんに、その経験と技術を活かして活躍していただける土壌づくりをして参らなければと考えています。今年のサラリーマン川柳に「人生の余暇はいつくる再雇用」というのがありました。人口減少と労働力不足を考えると、高齢者の皆さんの人生はまだまだ先は長く、お互いに健康に留意してがんばりましょうとエールを送らずにはいられません。

最近、私が凝っていることは時代劇や時代小説です。藤沢周平の「蝉しぐれ」、池波正太郎の「鬼平犯科帳」「剣客商売」、葉室麟の「散り椿」「風の峠―銀漢の賦」等々です。なぜ時代劇が好きなのか自問自答してみますと、私の生活態度や仕事に対する姿勢などとは正反対のような主人公の立ち居振る舞い、質素儉約な生活(私も十分質素だと思っはいますが…)に憧れがあるという結論に達しております。もう少し大げさにいうと、日本人が忘れてしまっている大切な事や物の考え方が描かれているからです。先人を見習って少しは自分の生活を律することができればと思っている昨今です。

2 月は新年度に向けて就職や進学に備える季節でもあります。インフルエンザが猛威を振るっています。くれぐれも体調管理に注意していただいて、健やかに過ごして下さい。

平成 31 年 2 月

東白川村長 今井俊郎